

コンクリートカヌー競技大会審査資料

代表者氏名	所属	艇の愛称
藤野 浩行	グループH i R A C	Beton 2

注) 書式は自由とします。ただし、カヌーの寸法、使用材料（セメント系材料と補強材）、安全対策（浮力体、ブイの設置など）に関する記述をするとともに、カヌーの全体像がわかる写真を最低 1 枚貼付して下さい。

○今回グループH i R A Cは、2 艇出場するにあたり、各々違う材料でカヌーを制作するに至った。大会出場は初めてだが、競漕の部で上位入賞を目指し、安定性・直進性を重視する事にした。

安定性向上の為に試作で作った船より横幅をとり、船底を平らにした。

○カヌーの寸法

全長 **3 m8 0 cm**
 全幅（前 部） **5 3 cm**
 （中央部） **5 8 cm**
 （後 部） **5 3 cm**
 高さ **3 5 cm**

○型枠作成

型枠の材料として、加工が容易な発泡スチロールを採用した。型枠に使用した発泡スチロールを有効活用するために、脱型の際に、船首・船尾部分は外さずに浮力体としてそのまま残した。

型枠製作過程



発泡スチロール型枠



補強材取付



金網取付



型枠完成

補強材とモルタルの付着強度をよくするため、発泡スチロール型枠に船底・船上部・側面に、溝を設け耐久性をよくした。船の外側の膨らみを抑えるため、針金で金網を縛り付けた。

○使用材料

- ・セメント系材料
ポリマーセメントモルタル
普通ポルトランドセメント
高性能 AE 減水剤
- ・補強材
鉄筋 (5 mm)
金網 (目の開き1 . 5 cm)

特徴：通常のセメントモルタルの 70%程度の
軽量モルタルであり、ポリマー効果による優
れた接着性能及び防水性能を考慮して主材料
とした。



モルタル打設



モルタル打設完了



養生

ひび割れを防止するため、水を染み
こませた布を被し、ビニールでカヌー
全体を覆い
約 2 週間散水を行い養生した。

○安全対策

浮力体として、脱型の際に船首・
船尾部分は外さずに残しておいた
発泡スチロールを使用し、ブイ(発
泡スチロール) を取付けたロープ
をフックに固定した。



完成